

2022年2月17日  
イオンリテール株式会社

## 2025年までに、使い捨てプラスチック使用量半減へ 店舗で配布するプラスチック製カトラリーを木製・紙製に変更

イオンリテールは2022年3月から順次、「イオン」「イオンスタイル」等全店（約360店舗）でお客さまにお渡しするカトラリーを、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材に変更します。



当社はCO<sub>2</sub>排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指す「イオン プラスチック利用方針」のうち、「事業活動で使用する使い捨てプラスチック※1を2030年までに2018年比で半分に減らす」というグループ全体目標に先駆け、2025年までに完了する目標を掲げています。

こうした中2020年からは、お客さまが惣菜や弁当などを購入される際にお渡しするカトラリーは、お申し出をいただいたお客さまに必要な数量だけお渡しすることやストローについてはプラスチック製から紙製への変更により、使用量の削減を推進してまいりました。

このたび、上記の削減目標を達成するための取り組みをさらに推進し、2022年度上半期中に、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材のカトラリーに切り替えます。

	<変更前> プラスチック製	<変更後> 木製・紙製
カトラリー		 本体および外装にFSC認証素材を使用しています
割箸包装		 本体に植林材、外装にFSC認証素材を使用しています

今後も当社は目標達成に向けて、食品トレーやレジ袋、ポリ袋や使い捨てカトラリー等のさらなるプラスチック削減に取り組んでまいります。

※1：容器包装リサイクル法の対象となるプラスチック製容器包装のうち、使用後に不要となるものとレジで無料配布するストローやカトラリー類などの使い捨ての資材。

## **【ご参考】 イオンリテールの使い捨てプラスチック削減の取り組み**

### **■使用済み容器循環型プラットフォーム「Loop」について**

2021年5月より、東京都の全店（17店舗）と神奈川県、千葉県各1店舗の「イオン」「イオンスタイル」計19店舗で、日用消耗品や食品など繰り返し使えるリユース容器を利用した商品のショッピングプラットフォーム「Loop（ループ）」に参画するメーカー6社、計13品目の販売と容器返却ボックスの設置を開始しました。

2022年2月現在、お取引先さま7社16品目、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の計30店舗で展開しており、2022年度中に約50店舗まで拡大を予定しています。



### **■衣料品・暮らしの品に使用する資材の削減について**

当社の削減目標対象外でも、様々なステークホルダーと連携し、使い捨てプラスチック削減の取り組みを進めています。例えば、インナーやドレスシャツ、寝具など、衣料品・暮らしの品売場で展開する「トップバリュ」を中心とした商品に使用する資材（パッケージやハンガー、フック、台紙等）について、紙や再生プラスチックへの切り替えや、簡素化を進めることで、プラスチック原料の削減に順次取り組んでいるほか、再生ポリエステルやオーガニック素材など、環境に配慮した素材を使用した商品開発も推進しています。

### **■レジ袋の削減について**

1991年より、「買物袋持参運動」を開始し、お客さまとともにレジ袋の削減に取り組んでいます。当社では2007年から、食品売場でのレジ袋の無料配布を中止し、2013年に全国へ拡大しています。多くのお客さまのご理解とご協力の結果、当社のレジ袋辞退率は2021年12月時点で84.7%まで高まっています。

また2020年、本州・四国の「イオン」「イオンスタイル」等で衣料品・暮らしの品を含む直営全売場でのプラスチック製、紙製を含むすべてのレジ袋の無料配布も終了し、マイバッグ販売の拡大なども通じて、さらなる削減に取り組んでいます。



### **■リサイクルステーションの設置について**

ペットボトルや食品トレー等のプラスチックをはじめ、ダンボールや古紙等の資源を回収する「リサイクルステーション」の設置に加え、2022年2月より回収量アップを目的とした大型リサイクルBOXの展開を開始します。回収した資源は、ペットボトルや食品容器等に活用してまいります。



### **【本件に関するお問い合わせ先】**

イオンリテール株式会社 経営企画本部 広報部 関本 電話：043-212-6501